

認知症予防分野におけるPFS事業について

2022年1月24日

公文教育研究会 学習療法センター

1 . 弊社の事業活動

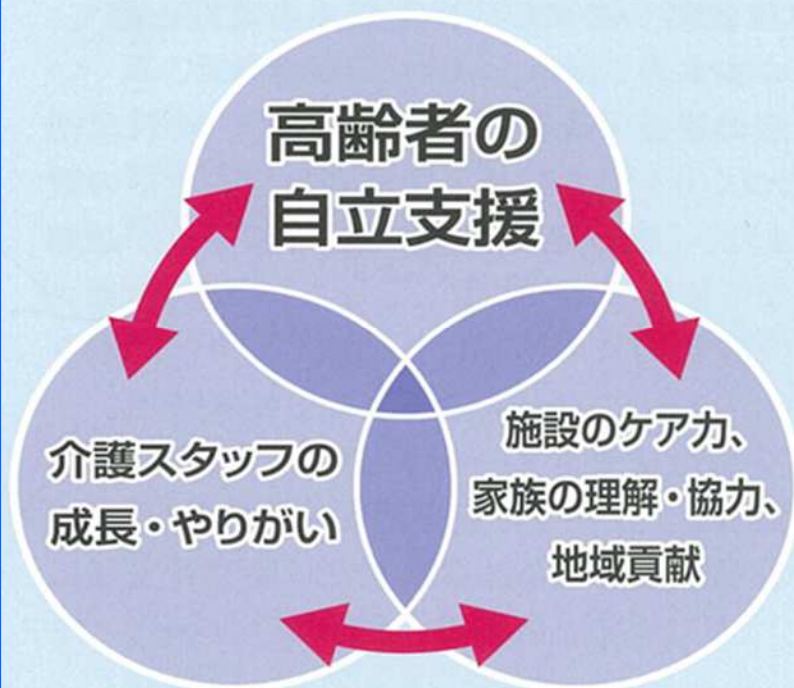
認知症の維持・改善

学習療法

高齢者介護施設で実施

「自信」「意欲」「誇り」を引き出す

～「できないことを補う介護」から「自立支援の介護」へ～



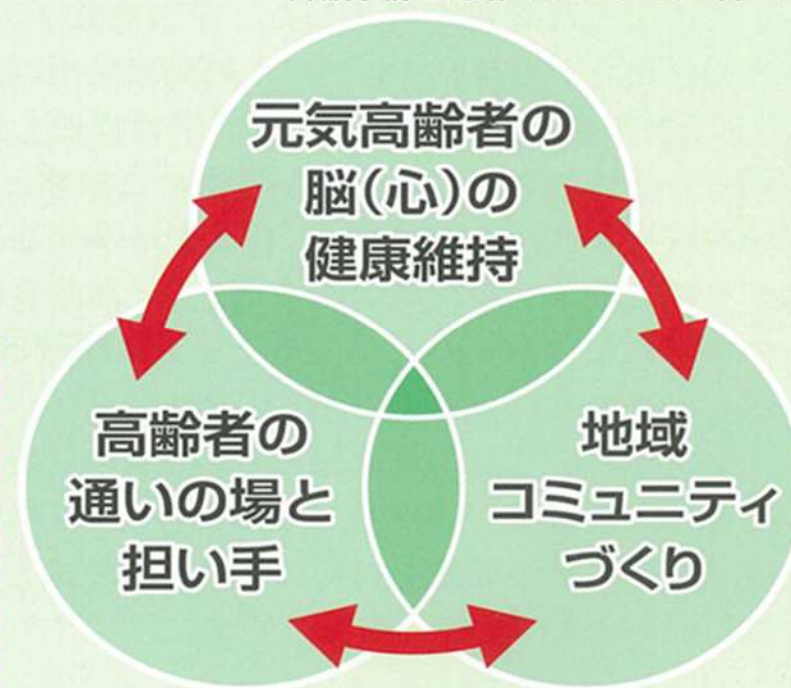
認知症の予防

脳の健康教室

市区町村、団体で開講

脳の健康と仲間づくり、社会参加

～通いの場と支える担い手を増やし、
介護予防と地域コミュニティづくりへ～



Mission

学習療法センター ミッション

私たちは、学習療法と脳の健康教室の実践を通し、
一人でも多くのご高齢者とそのご家族の笑顔を増やす。

2 . 弊社のPFS取り組み事例

PFS取り組み事例

1. 経済産業省「平成27年度 健康寿命延伸産業創出推進事業（ヘルスケアビジネス創出支援等）：成果報酬型ソーシャルインパクトボンド構築推進事業」へ参画
2. 奈良県天理市において平成29年度から、認知症予防分野では全国初となるPFSによる「脳健康教室」を実施
3. 厚生労働省「平成30年度 老人保健事業推進費等補助金老人保健健康増進等事業：認知症施策における民間活力を活用した課題解決スキーム等の官民連携モデルに関する調査研究事業」へ参画
4. 令和元年度からは奈良県天理市と福岡県大川市にてPFSによる二つの事業を実施中（内閣府PFSポータルサイトにも事例掲載）

認知症発症予防としての「脳健康教室」

認知症重度化防止としての「学習療法」

いずれの事業においても、「成果指標」を設定

ストラクチャ指標（サポーター充足率など）

プロセス指標（出席率）

アウトカム指標（認知機能検査スコアなど）



3 . PFS事業に取り組む中で学んだこと

PFS事業においては

関係者全員が「成果指標」（目標）を共有



**その達成に向かって、PDCAサイクルを回しながら、
関係者全員が一丸となって取り組む**



事業の質が向上

「成果指標」（目標）の共有が全てを動かす鍵



PFS事業 VPDCAサイクル

V (Vision) 自治体としてどういう状態を目指したいのか？

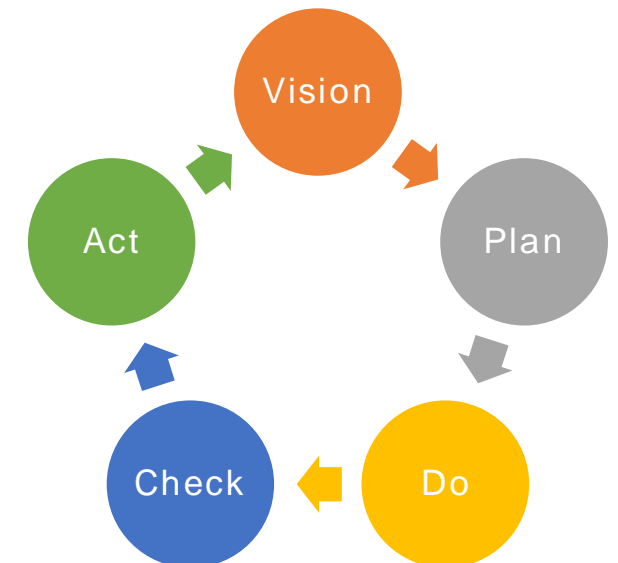
首長・担当者のビジョン・目的・思い

P (Plan) そのためには、何を成果とし、誰が、どういう活動を行うのか？
成果指標・役割分担（契約関係）・活動計画の「見える化」

D (Do) その成果をどう達成していくのか？
ワンチーム・道中工夫・軌道修正

C (Check) 結果をどう評価するのか？
成果指標の達成度の測定・振り返り

A (Act) 次年度にどうつなげていくのか？
成果指標・活動計画の改善



質の向上・量の拡大「いい脳健康教室・いい学習療法を広げていく」